



十月の青空の下、道端に

萩の花が咲いています



籠谷 弘の日記
前回までのあらすじ

私が大学を中退して東京に出て初めて就職したのが、キャバレーのボーイでした。なぜキャバレーのボーイをしたのか、他にいくらでも就職口があったのに、それは私が仏教の影響を受けそのための選択でした。それから銀座でパーテンドー見習いをして、小田原に行きパーテンドーとヤクザの世界に1年間浸り再び東京に帰り自動車の世界に身を置くことになり、その間に結婚し離婚を涙ながらにして、(その時結婚していた洋子とは昨年まで何かと連絡を取っていましたが今年亡くなりました。南無阿弥陀仏)

東京の生活は7年程してそれから、リコー教育機器の大阪支店に入社しました。そこは大企業で中途採用は珍しく私は兄の紹介で大阪支店長に面接ですっかり惚れてしまい、この人の元で仕事をしてみたいと念願し、大阪に行きました。リコーでは、私は営業マンとして採用され、営業の経験は十分ありましたので、リコーが製造販売している教育機器は私にとって売りやすい商品でたちまち支店一番の売上を記録し、その後トントン拍子で、堺の所長、神戸の所長、大阪支店一課長、最後に支店長の販売促進課長を仰せつかりました。大阪支店は大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都府、滋賀県、四国四県(愛媛、高松、徳島、高知)を管轄していました。販売

促進課長はこの全ての県の代理店約120店舗を担当し、販売促進のための施策を練り各代理店におろし指導管轄する部署です。このエリアを課長といえども飛び回っていました。

主な仕事のうち大事なものに代理店の社長が来阪したときに夜接待をする役目でもあり、支店長とともに大阪南の割烹店、クラブで接待を毎日のようにしていました。当時私は30歳独身でお袋と二人暮らしでした。家はアパートで黒門市場に近いところでした。お袋は料理が大好き人間で若い時小料理屋をしていたようで、黒門市場はとても喜んでいました。

プロが買物に来る市場ですから良いものがありますが、それなりの値段がして安月給の私にはいづも給料前はお金が足りない毎月でした。

夜の接待のクラブで知り合った順子さんに私は少しほの字になっていました。活発でハキハキしているのですが、彼女のアパートに泊まったとき、彼女の純情な態度に私はぞっこん惚れ直しました。結婚も頭にちらつく仲になっていました(私だけ)。

ここまでが前回までのあらすじですね、今回からその続きです。

四国で高松営業所の事務員の大堂君から結婚を迫られ、這々の体で逃げ帰ってきた私は大阪支店に出勤し何事もなかったように仕事に性を出して行きました。帰ってきて3日後に神戸の代理店さんの接待で南のクラブの順子さんの店に行きました。順子さんはニコニコと私を迎えてくれてその笑顔に四国での仕事の疲れもふつとびました。つくづく私はこの順子さんに惚れてし

まっているなあと自分でもはつきり認識するようになっていました。まだ彼女がこの出身で、親御さんや兄妹はなど何もわかっていない状態でこんな惚れてしまつて良いのか? 又彼女はどうか? 一夜の男友達と思っているのか? 一夜の男友達と思つているのか? 何もわかっていない状態でした。私は彼女を好ましい人と思つてしまつていました。彼女は私の席につき「お元気でした、暫くお見えにならないので少し心配しました」と支店長や代理店さんに聞こえないように話しかけてきて私も気を付けたが「うん、四国出張だったので君に会えなくて寂しかったよ」「籠谷さんは口がうまいので、気をつけなければね」「何を言っているの、本当のことだよ」「あらあら、そんなにあわてて、四国でなにかありました?」

私はどき！としましたが、素知らぬフリで「うんう、なにもなかったよ、それよりきみはどう」彼氏でも出来た？と聞こうとしましたがあまりにも露骨な質問で興を無くすと思いい胸にとどめ「君は、元気でしたか」とつまらない質問をしていました。

久しぶりに順子さんに会えて私は胸が踊るのを感じていました。こんな気持は彼女にしか持つていない自分に少し驚いてじいーと彼女を見つめていました。「何か付いています」「いや順子さんがあまりにきれいなので」「嫌な人、そうして何人の女の子を泣かせてきたの」

「本当だよとても綺麗」私は自分からそんな言葉が次から次に出てくるのが自分ながら不思議に思っていました。「おい！課長歌でも歌えよ」と支店長の声で我に返って「かしこまりました、では「あなたのすべてを」を歌います。」この歌は私のお箱で、楽譜を楽団の人に渡してありましたので、その伴奏で歌い始めました。

“名前も知らない、あなたと私、なのに不思議ね、胸がときめく、これがほんとの恋というものかしら、教えてほしい、あなたのすべてを、今宵一人で歌うあなたへの歌” ♪

私は順子さんのために、心から声を絞り出して歌いました。他のお客さんが「いいぞう！うまいぞう！」と掛け声、順子さんはただニコニコと私を見ながら聞いてくれていました。

その夜は順子さんのアパートに行けるのかどうか、未だ私を好いてくれるのかどうか？

次回に……



歌声喫茶 10月・11月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

10月12日、26日

11月9日、23日

楽々亭第35回 10月の予定

10月18(水)

西京区役所洛西支所第1会議室

午前10時～12時

ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。